

弓道同好会

「幕別体育連盟40周年を迎えるにあたり30年誌に発足時からの沿革について、すでに詳細掲載済みではありますが、簡単に述べることに致します。

1. 幕別弓道同好会は、昭和51年4月に幕別体育連盟に加盟しました。
2. 発足時は池島多加一郎の外2～3名でした。
3. 練習場は、帯広緑ヶ丘弓道場で、第7回道民スポーツ夏季大会から幕別町として参加し、平成4年この大会で弓道が削除されるまでの間数々の成績を残しました。
4. 池島多加一郎は、当会の会長と共に帯広弓道協会・十勝弓道連盟会長も永年勤め帯広体育連盟表彰も受けています。
5. 10年前の同好会 役員
会 長 不在（池島多加一郎が昭和62年10月15日死亡）
理事長 加藤 哲夫 南町2-29
理 事 阿部 寛司 札内あかしゃ町43
6. 10年間の成績「幕体連だより」より主なものを抜粋すると次の通りです。

平成2年度

- 7月28日はまなす国体記念高令者大会
65歳以上の部 2位 加藤 哲夫
- 道民スポーツ夏季大会幕別チーム
団体総合6位

平成3年度

- 道民スポーツ夏季大会幕別チーム団体
近的、遠的準優勝 総合5位

平成4年度

- 6月20日はまなす国体記念高令者大会
65歳以上の部 5位 加藤 哲夫
- 8月22日道民スポーツ幕別チーム団体
近的2位、遠的3位 総合5位

平成5年度

- 道民スポーツ夏季大会より弓道削除

平成6年度

- 8月21日北海道段別大会（遠軽）
四段の部 門屋 宏 3位（899名中）
- 11月3日明治神宮奉納弓道大会
称号者の部 加藤 哲夫 3位

平成7年度

- 10月29日十勝年代別対抗大会
川田 忠男 3位
- 帯広協会月例会 協会表彰
川田 忠男 皆勤・三年連続
年間最優秀・総合優秀賞を受賞

平成8年度

- 幕別開基100年記念大会 参加者26名
川田 忠男 優勝 12射 8中
加藤 哲夫 2位 " "
- 門屋 宏 3位 " 6中

7. 平成9年度

- 第50回北海道弓道大会 5月25日
会 場 遠軽武道館 (170名)
加藤 哲夫
川田 忠男
門屋 宏
団体・個人共に予選落ちす。
- 第43回全十勝選手権大会 6月22日
加藤 哲夫 3位 12射 9中
門屋 宏 4位 " 8中
川田 忠男
- 第2回幕別開基記念大会 8月25日
加藤 哲夫 1位 12射 5中
門屋 宏 2位 " 4中
川田 忠男 3位 " "
- 第47回東北、北海道対抗弓道大会
会 場 青森県運動公園弓道場
参加者 加藤 哲夫 北海道代表15名の一員として参加 10射 7中

幕別弓道同好会 現役員 弓道段位

事務局 幕別町南町2-29 加藤 哲夫宅

役 員	会 長	加藤 哲夫	南町2-29	教士六段
	理事長	阿部 寛司	札内あかしや43	四段
	理 事	坂下 昭	新北町197-33	練士五段
	監 事	門屋 宏	春日町709-10	五段
	"	川田 忠男	相川135	四段

弓道の段位・称号は、中央審査・連合審査・地方審査に区分され五段・四段は連合審査・称号・六段以上は中央審査を受審することになっています。

審査はあくまでも自己の現段位における修練の度合を見極め、将来に対しての修練の方向・指導の在り方を示唆するものです。

会員の声

今回初めて会員の声として、入会10年以上の会の中心的活動をしている門屋宏氏と本年入会のフレッシュな寺山美智子氏の2人に寄稿をいただき、会員の率直な意見と受止め弓道発展の一助としたいと思います。

幕別町の弓道発展のために

門 屋 宏

かつて多くの先輩の方々が活躍してこられた弓道も、今日では町内に10名にもみまない同好者で行われているのが現状です。

なんといっても十分な練習ができる施設がないことが、今日まで弓道が発展できなかった大きな原因であったといえるでしょう。

弓道というのは、「礼に始まり礼に終る」といわれています。弓道をすることによって健康の増進をはかるスポーツとしての一面をもっていることは勿論ですが、弓道の精神は今日のような社会にとって不可欠なものである礼節・和敬・克己・謙讓・仁義等々弓道を通して心の修養、つまり人格の形成、人生を豊かにする面でも大きな役割をもっています。

これらのことから町民の方々に弓道を見ていただいて理解を深めてもらい普及していきたいと考えています。

久しぶりに町内において、昨年、開基百年記念のスポーツフェスティバルで、他からの協力をいただき幕別大会を開催することができ、今年も同好者によって幕別大会を行うことができたことは、これからの活動にとって大きな成果をあげたものと考えます。

現在、帯広の弓道場で積極的に練習したり講習会・各大会に参加し、微力ではあるけれどもよい成績をあげていることは、たびたび「幕体連だより」に報告している通りです。

今後の弓道の発展に一層の御協力をお願い致します。

記念誌発行に寄せ

寺 山 美智子

私が弓を始めたのは、昨年の8月の終わり頃で、職場近くの緑ヶ丘弓道場です。木々に囲まれて車通りの多い場所ながら建物は古く、いつもひとのいる気配のない（つかっていない時ばかり見かけたようです）。近づいて文字を見るまで解らないほどです。私のまわりでも存在を知っていた

のは、近くに子供の頃から住んでいる友人が一人です。これも縁がなければ、もっともかも知れませんが、弓のおかげで沢山の世代を越えた友人や先生方に出会い、学生時代とは違った日々を送っています。

スポーツは好きでしたが、なかなか続かず何かずっと続けられる事を探していた私には、この出会いは大変すばらしいものでした。

その頃の道場は、いつでも利用可能でしたから初歩の段階の何か月か、つきっきりで指導していただき現在やっと初段になりました。

今年は4月幕別弓道同好会に入会し、幕別の射会に初めて出させて頂くことも出来ましたし、今は二度目の審査に向け稽古に頑張っているところです。

私の弓道人生は、今やっと始まったばかりです。この先まだまだ色々な方々に出会いお世話になるとは思いますが、何十年かあとになって白髪のおばあちゃんになっても、弓が引けたら素敵だと思っています。

◎展 望

21世紀が間近に迫っています。然し人口の高令化も急速に進んでいます。そのような内にあって健康な人生を楽しむには、年齢に合った体力維持増進が何より必要です。

弓道は相当高令者にも可能なスポーツではないかと思えます。定年を迎えた方が入会され毎日楽しみながら練習に励んでいる姿を見受けられます。

よく弓道は、礼に始まり礼に終るとか、内志正しく外体直くして然る後に弓矢を持つこと審固なり、等々精神面を強調されるのあまり、近寄りがたいスポーツと思いがちな人が多いようですが、決してそのような固苦しいものではありません。

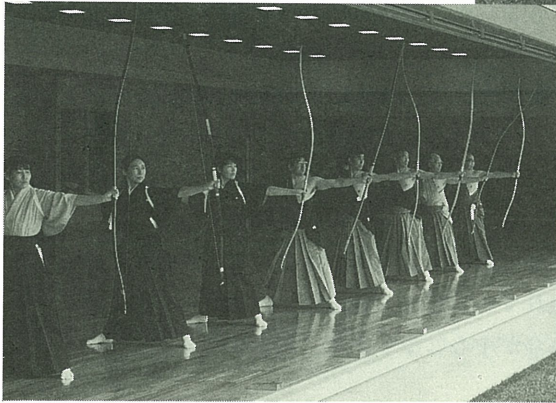
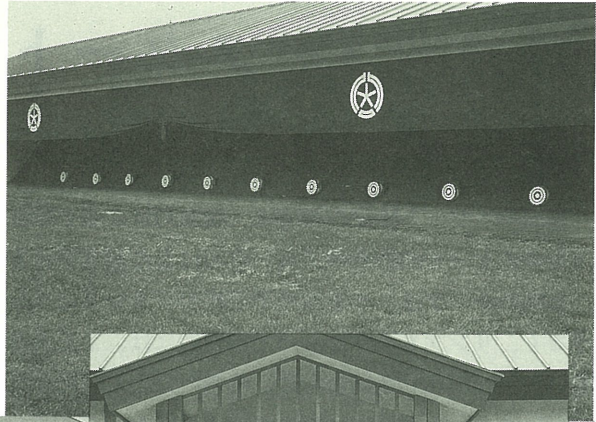
弓道とは何んなものかを見てもらい、知っていただく必要があります。

昨年、今年と幕別開基100年記念行事の一環として運動公園で弓道大会を実施し、町内居住者に相当の理解を得たものと心強く感じています。

冬期間は武道館に仮設安土場を設け練習可能となっています。これらを足掛りとして、町内弓道愛好者の増加につとめ、正規弓道場の建設を夢みて邁進します。



現 会 長



帯広の森弓道場開き記念射会



旧帯広道場お別れ懇親会



幕別開基100年
第2回射会

